

CISMOR 公開シンポジウム

# 表現の自由と宗教的尊厳は 共存できるのか？

## — パリ、コペンハーゲンでの 襲撃事件を踏まえて

### 【講師】

近藤 誠一 元・文化庁長官、ユネスコ大使、デンマーク大使 / 同志社大学客員教授

菊池 恵介 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 准教授

### 【コメンテーター】

会田弘継 共同通信社・特別編集委員

### 【司会】

小原 克博 同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR センター長

2015 年 3 月 14 日 (土) 13:00—15:30

同志社大学今出川キャンパス

良心館 107 番教室

## 【プログラム】

|                |                 |       |
|----------------|-----------------|-------|
| 1) 開会挨拶／講師紹介   | 13 : 00－13 : 10 | 小原 克博 |
| 2) 講 演 #1      | 13 : 10－13 : 40 | 近藤 誠一 |
| 講 演 #2         | 13 : 40－14 : 10 | 菊池 恵介 |
| － 10 分間休憩 －    |                 |       |
| 3) コメント        | 14 : 20－14 : 30 | 会田 弘継 |
| 4) パネルディスカッション | 14 : 30－15 : 00 |       |
| 5) 質疑応答        | 15 : 00－15 : 30 |       |

## 【登壇者紹介】

近藤 誠一（こんどう せいいち） 元・文化庁長官、ユネスコ大使、デンマーク大使/同志社大学客員教授

1972 年外務省入省。在米国日本大使館参事官、同公使、外務省経済局審議官、OECD 事務次長、外務省広報文化交流部長などを経て、ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、駐デンマーク特命全権大使等を歴任。外務省参与、東京大学特任教授。

2013 年 7 月まで文化庁長官。著書に『ミネルヴァのふくろうと明日の日本』『外交官のア・ラ・カルト』、『FUJISAN 世界遺産への道』等。

菊池 恵介（きくち けいすけ） 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科准教授

1968 年生まれ。パリ第 12 大学博士課程修了。専攻は哲学・社会思想史、フランス地域研究。哲学博士。著書に、三宅芳夫／菊池恵介編『近代世界システムと新自由主義グローバリズム』（作品社、2014）。論文に「岐路に立つヨーロッパ——EU 議会選挙における極右躍進の背景」（「同志社グローバル・スタディーズ」VOL.5、2015 年 3 月刊）、「スカーフ問題とは何か」（内藤正典／岡野八代編『グローバル・ジャスティス入門』ミネルヴァ書房、2013）、「アフリカへの償い——奴隷制・植民地主義の補償問題の行方」（『女性・戦争・人権』12 号、行路社、2013）など。今回のテロ事件に関しては、「〈風刺の精神〉とは何か——パリ銃撃事件を考える」（レイバーネット、2015 年 1 月 15 日付、<http://www.labornetjp.org/news/2015/0115kikuti>）がある。

## 会田 弘継（あいだ ひろつぐ） 共同通信社・特別編集委員

1951 年、埼玉県生まれ。東京外語大英米語科卒業後、共同通信社に入社。ワシントン支局記者（1988-91 年）、ジュネーブ支局長（1993-97 年、99-2000 年）、ワシントン支局長（2002-05 年）、編集委員室長・論説委員長（2010-13 年）を経て、現在、特別編集委員。米紙アメリカン・インタレスト編集委員。同志社大学一神教学際研究センター・リサーチフェロー。関西大学客員教授。青山学院大学 WTO 研究センター客員研究員（02 年度）、東京外語第非常勤講師（06-07 年度）、上智大学非常勤講師（08-10 年度）。

著書に『追跡アメリカの思想家たち』（新潮選書）、『戦争を始めるのは誰か』（講談社現代新書）、訳書に『政治の起源』（フランシス・フクヤマ）『アメリカの終わり』（同）『日・米・英「謀報機関」の太平洋戦争』（リチャード・オールドリッチ）の他、アメリカ現代思想史、政治、外交に関する論文多数。日本記者クラブ理事。

## 小原 克博（こはら かつひろ） 同志社大学神学部教授、一神教学際研究センター長

1965 年、大阪生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学（ドイツ）に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。現在、同志社大学神学部教授、一神教学際研究センター長。

京都・宗教系大学院連合議長、日本宗教学会理事、宗教倫理学会評議員、日本基督教学会幹事理事、京都民医連中央病院倫理委員会委員長も務める。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。

著書として『宗教のポリティクス——日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房、2010 年）、『神のドラマトウルギー——自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館、2002 年）、『原発とキリスト教——私たちはこう考える』（共著、新教出版社、2011 年）、『原理主義から世界の動きが見える——キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP 研究所、2006 年）、『よくわかるキリスト教@インターネット』（共著、教文館、2003 年）、『キリスト教と現代——終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社、2001 年）、『E U 世界を読む』（共著、世界思想社、2001 年）などがある。

< 次回講演会 >

詳細決定し次第、ウェブサイト他にてご案内致します。

## MEMO